

市民記者が行く！ 広報サポーターレポート



市民レポーター

Matcha de おもてなし西尾



広報サポーター
神谷麻由さん(行用町)

「西尾はお抹茶が有名だよね」と市外の方に言われるとうれしい気持ちになります。東京や名古屋に住んでいた頃も「西尾の抹茶使用」という商品を見掛けるたびに誇らしく思い、つい友人にシェアする分まで購入したことも(笑)。出産のため西尾に戻り、友人を招く立場になると、もっと西尾を知りたくなり、さまざまなイベントや場所などを訪れました。抹茶の産地としてだけでなく、その心(茶道)と空間(茶室や庭園)をもって客人をもてなし「西尾へ来てよかった」と、息の長い価値観が続くことを願い、私が選んだ「おもてなし」スポットをご紹介します。

まず、西尾駅にほど近い旧近衛邸(歴史公園内)は、気軽に利用しやすいオススメです。数奇

屋風の佇まいに広々とした書院、その奥にある茶室は、公家の茶の湯らしい趣があります。呈茶サービスがあり、季節の和菓子と一緒に庭を眺めながら、抹茶を楽しむことができます。伝想庵(文化会館内)や京風庭園の美しい尚古荘(歴史公園内)も四季を感じながら、抹茶を楽しむこ



旧近衛邸の庭園(右と左上)と私がお借りした書院(左下)。泉外の友人に、とても喜んでもらえました。



尚古荘の茶室から眺める庭園(上)と、市民大茶会でにぎわう伝想庵の庭園(右)

とができます。一色町の倶楽地庵(一色町公民館内)では、茶室から桜木のある庭園を眺めることができます。お茶会などのオープンイベントのときに、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。吉良町にある県指定文化財の旧糟谷邸にも素晴らしい茶室と庭園があります。現在は呈茶サービスがなくなりましたが、このことですが、昔にタイムスリップしたかのような雰囲気のある邸宅内を巡り、晴れた日には庭にまわって、賓客をもてなしたとされる茶室と、そこへ向かう露地など全ての景観が「心憎い」までのおもてなしを演出します。



倶楽地庵



旧糟谷邸の茶室に向かう露地(上)と、茶室(右)



市内には紹介しきれないほど、おもてなしスポットがあります。また、市民茶会や茶園を巡るウォークラリーなどのイベントも一年を通して盛りだくさん。外国出身の方にもオープンにお茶の心を広く伝えていきます。これからも、西尾とお抹茶のことをより深く学び、おもてなしのクオリティを高めたいと思います。



▲日本の茶道は国際的にも注目を集めています

広報サポーターは公募により選ばれた市民記者です。これからも市民の目線で市内各地のイベントなどを取材していただきます。